



# 深川東京モダン館だより

Fukagawa Tokyo Modankan News



## 共催 モダン講談会

後援：一般社団法人日本講談普及協会

日本講談協会

7月4日(土) 14:30～(開場 14:00)

### 星に願いを、短冊に想いを

出演 神田紫天、神田陽乃丸、神田陽子、神田梅之丞、神田紫

予約・当日 3,000円 定員：50名 全席自由席 ※6月16日(火) 10時から受付



共催

0歳からOK!

7月11日(土) 11:00～12:00

リトミック要素を取り入れたミニコンサートと  
親子で一緒に楽しめる簡単な作品を作ります



## ふかにこ ファクトリー

大人子ども合わせて27人  
大人 1000円 子ども 500円

※6月25日(木) 10時から受付

お支払いは現金のみ



こちらのフォームから  
お申し込みください

歌&読み手:YUKKIY(ユッキー) イラスト:Reap ギター:日野 雅司 ほか

## 7月のカレンダー

開館時間 10:00-18:00

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4 講談会	5
6 休館日	7 おきがる講座	8	9 キッチン 松ぼっくり営業日	10	ふかにこ ファクトリー 11	12
13 休館日	14	15	16	モダン館 円楽一門会 17	18	19
20	21 休館日	22	23	24	25 圓橋の会	26
27 休館日	28 嘸+話	29	30	31 おきがる講座		



# 懐かしい給食の味！キッチン松ぼっくり

7月9日(木) 11:45-14:00

タコライス



850円

揚げパンは1個50円

卵スープ

デザート (ピーチボート)



松



※受付は当日の10:00から(開館は10:00)  
※完売次第、閉店いたします ※ラストオーダーは13:30です  
※ご予約はできません ※メニューを一部変更する場合があります

写真はイメージです

## 共催 モダン館円楽一門会

7月17日(金) 14:00~16:00 (開場13:30)

予約・当日 2,000円 定員 50名

楽麻呂 全楽 好好 好二郎 演目は当日のお楽しみ

※6月25日(木) 10時から受付

+ 「深川と落語にちなんだ話」 龍澤潤

## 共催 圓橘の会 7月25日(土) 15:00~ (開場14:30)

三遊亭 圓橘・萬次郎

岡本綺堂 三浦老人昔話より「置いてけ堀」

「佃祭り」

予約・当日 3,000円 定員 50名 ※7月7日(火) 10時から受付

## 共催 噺+話 7月28日(火) 14:00~ (開場13:30)

雷門五郎 「高砂や」

+ 龍澤潤 「演題にちなんだ話」

予約・当日 1,500円 定員 20名 ※7月7日(火) 10時から受付



## 主催 おきがる講座 江東区の歴史を学ぶ講座です

7月7日(火) 14:00~15:30 シリーズそのとき栄一は②銀行・倉庫業と米・生糸 再

※6月25日(木) 10時から受付

7月31日(金) 14:00~15:30 深川の近代建築物 ※7月15日(水) 10時から受付

各回とも 受講料: 500円 定員: 50名(要予約) 講師: 龍澤潤(深川東京モダン館)



## モダン館ボランティアガイドだより ①41

### 江戸東京野菜 「亀戸大根」



亀戸大根は、日本一小さな大根で、甘みが強くビタミン C も豊富に含まれています。江戸末期から昭和の初期まで、亀戸香取神社周辺で栽培されました。荒川水系によってできた肥沃な粘土質土壌が、肉質が緻密で白く冴えた肌の大根づくりに大変適していました。

明治の頃に、可愛らしいその姿から「おたふく大根」「おかめ大根」などとも言われ、大正初期に産地の名をつけて「亀戸大根」と呼ばれました。

しかし、江東区一带は近代工業地帯として発達、農地は工業用地にとって代わっていき、産地は周辺に移り、昭和 40 年ころには亀戸から消えてしまいました。

亀戸香取神社の境内に、東京の農業の歴史を伝える「江戸・東京の農業 亀戸大根」の屋外説明板があります。JA 東京グループが農業協同組合法施行 50 周年を記念し、1997 年から東京の農業の歴史を伝えるために 50 本設置したうちのひとつです。この説明板に注目したのが、亀戸の地元商店街の若手リーダーたちでした。江戸時代からの名産「亀戸大根」をふたたび地元にもどしたいと「かめの会」を 1998 年に立ち上げました。農地のまったくない亀戸で、栽培を復活させるにはどうしたものかと。小学校の父親参観日に参加したお父さんたちは、冬の学校の花壇が淋しいのを見て「亀戸大根」を植えたらと思いつきました。校庭の花

壇で栽培しようと学校や PTA に協力を求め、翌年葛飾区高砂で「亀戸大根」を守り続けている農家の鈴木藤一さんに栽培指導を依頼しました。みんなで土づくりを学び、種まきから収穫まで頑張り、種がとれました。これなら行けると各学校に声をかけ、亀戸の小中学校に種をくばりました。20 年以上たった現在も栽培が引き継がれています。

また、説明板を読んで、地元の老舗割烹「升本」の塚本光伸社長が、1999 年（平成 11 年）「亀戸大根之碑」を寄進しました。「升本」では「亀戸大根あさり鍋」や「亀戸大根たまり付け」などのメニューを開発し、亀戸ダイコンを味わえる店としてお客さんを引きつけています。

香取神社の境内で毎年 3 月の日曜に「亀戸大根収穫祭（注 1）」「福分けまつり（注 2）」が行われ、3 月はじめの行事として定着しました。

残念ながら、コロナの影響等で「福分けまつり」は現在中断されていますが、「亀戸大根収穫祭」は継続しています。

今年の 3 月 7 日に収穫祭が行なわれ、亀戸の小中学校 7 校と JR 亀戸駅、東武鉄道亀戸駅、アトレ亀戸、花王石鹸、カメイドクロックが参加しました。

注 1 「亀戸大根収穫祭」—持ちよった大根を奉納し、宮司が祝詞を奏上。

注 2 「福分けまつり」—お多福大根の福を分け与えるため参拝者に亀戸大根の入った「福分け味噌汁」「亀戸大根まんじゅう」がふるまわれ、大根もおすそわけ。

（おまけ）香取神社参道の亀戸大門通り（勝ち運商店街）にある居酒屋「発酵文化応援団」で毎月第二金曜 19 時～「江戸東京野菜講談」が行われています。第 130 回夕霧講談「ジョン万次郎と亀戸大根」の演目でした。

参考文献  
・大竹道茂『江戸東京野菜の物語—伝統野菜でまちおこし』平凡社新書、2020 年

・こやましげみ『かめいどだいこん』かめの会、2005 年（絵本）



（文と写真 江東区文化観光ガイド 竹内 喜美枝）

深川東京モダン館では江東区文化観光ガイドによる館内のご案内（10時～16時）およびご希望によりモダン館周辺のまちあるきツアー（1時間程度、11時・14時出発）を行っています。※諸事情によりガイド不在の場合もあります。

## 貸会議室・多目的スペース

深川東京モダン館では2階の多目的スペースと会議室をお貸し出ししています。ミーティングやイベントを行うスペースなどにご利用ください。

### ◆会議室 (20㎡)

利用日時：開館日時 利用例：社内ミーティング、商談、お花・書道・語学の教室等

### ◆多目的スペース (80㎡)

利用日時：開館日時 利用例：展示、イベント、社内研修、演劇の公演、講演会、落語会等



多目的スペース



会議室

※料金・ご予約の詳細については、お電話またはメールにてお問い合わせ下さい。

※スクリーン、プロジェクター、マイクなど機器類もご利用いただけますので、ご相談ください。

## ガイドブック・お土産品

深川東京モダン館1階では、まちあるきに役立つガイドブックや江東区の文化財ガイドなどを販売しています



### 深川宿

深川めしの素 920円(税込)

当館は全て現金のみです

## 百圓珈琲

1F カウンターでは 100 円のコーヒー各種をご提供しております  
日替わりホットコーヒーとモダン館ブレンド (しっかり・すっきり)、さらに夏季限定「ひやし」をご用意

まちあるきの休憩時や会社のお昼休み中にごどうぞ



## 開館日および開館時間

10:00-18:00

休館日：月曜日

(月曜日が祝日の場合、翌火曜日が休館となります)



「深川東京モダン館だより」第155号(2026年6月11日)

発行 (一社)江東区観光協会 深川東京モダン館

〒135-0048 東京都江東区門前仲町1-19-15

TEL 03-5639-1776 FAX 03-5620-1632

Mail info@fukagawatokyo.com

ホームページ www.fukagawatokyo.com

